

はばたけ！ 関東の空へ

「自然と共生する持続可能な地域づくり」のシンボル

コウノトリの関東地域における野生復帰にむけて



コウノトリと共生する地域づくり推進協議会（千葉県野田市）

コウノトリに
会いにいこう！

「野田市こうのとりの里」(野田市三ツ堀 369 番地)



野田市の“自然と共生する地域づくり”のモデル地区「江川地区」の中にあって、**飼育しているコウノトリの公開、コウノトリ関係の展示**を行っています。コウノトリを間近に見ることが出来ます！

【公開時間】10時から正午まで／13時から15時まで

【休館日】月曜日・年末年始(12月29日～1月3日)(ただし、月曜日が祝日の場合は翌日)

【交通】東武野田線梅郷駅より茨城急行バスで「野田梅郷住宅」下車 徒歩10分

まめバス南ルートで「しらさぎ通り入口」下車 徒歩7分 ※駐車場有

知ってる？

コウノトリ(Oriental White Stork)は、こんな鳥



大きさ：立っている時の高さは約1m。
つばさを上げると約2mもあります。

体重：約4～5kg

体色：つばさの色は白と黒、足と目のまわりが赤色、黒くて長いくちばしをもっています。

鳴き声：大人のコウノトリは鳴きません。
警戒した時などに、くちばしをカタカタとたたき合わせる「クラッタリング」を行います。

食べ物：ドジョウ、フナ、ナマズなどの魚類、カエル、アメリカザリガニ、ヘビ、バッタなど、田んぼや水路、河川、湿地などの水辺や周辺の草地にいる生きものを食べる、肉食の鳥です。1日に500g以上を食べます。

見分け方：サギの仲間と間違えられることがありますが、アオサギよりも一回り大きく、飛ぶ時は首も足も伸ばして飛びます。(サギ類は首を曲げて飛びます)

見られる場所：田んぼ、用水路、河川などの水深の浅い水辺や草地で採餌し、木や電柱・建物の上などで休みます。

分布：ロシア、中国、韓国、日本など東アジア地域。

韓国・日本では一度野生絶滅し、ロシア・中国を中心に2,000羽ほど生息しています。日本では2005年に兵庫県で試験放鳥が開始され、現在、兵庫県豊岡市を中心に約70～80羽が生息、韓国でも今年度、野生復帰に向けた放鳥が予定されています。

法的位置付け：特別天然記念物(文化財保護法)、国内希少種(種の保存法)



(写真：(公財)日本生態系協会)

ははたけ！野田の空へ

「自然と共生する地域づくり」のシンボル
コウノトリの関東地域における野生復帰にむけて
連携：コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム

：コウノトリ舞う地域づくり連絡協議会

発行日：2015年6月

発行：コウノトリと共生する地域づくり推進協議会

事務局：野田市自然経済推進部みどりと水のまちづくり課

〒278-8550 野田市鶴奉7-1 ☎04-7123-1195/FAX04-7122-1558





なぜ「コウノトリの野生復帰」？

目的

人もコウノトリも暮らしやすい自然と共生する持続可能な地域づくり

野田市では、“コウノトリの野生復帰”を通じ、生態系ピラミッドの頂点に立つコウノトリ“も”生息できる、我々人間にとっても大切な生存基盤である豊かな自然環境と地域の経済・社会との調和による「持続可能な地域づくり」をめざしています。

野田市の生物多様性だけでなく、多くの地域・主体と連携をはかることによる、江戸川、利根川、利根運河の各流域、さらには渡良瀬遊水地や印旛沼・荒川といった**関東広域における水辺エコロジカル・ネットワークの形成**へとつなげていきます。



水辺の生態系ピラミッド



試験放鳥のロードマップ

野田市では、2015年度にコウノトリの試験放鳥を開始します。

2015年～2017年（平成27年度～29年度）【試験放鳥期間】

中間チェック期間も含めた3年間を「試験放鳥期間」として、専門機関等と調整しながら、放鳥を行っていきます。野外での個体の定着・繁殖状況を見ながら、次のステップである「本格野生復帰」に移行するかどうかを決めていきます。

野生復帰の方法

ソフトリリースまたはハードリリース（下図参照）による放鳥を行います。

方法1：ソフトリリース	方法2：ハードリリース
<p>ケージ内で生まれ・育った幼鳥の成長にあわせ、飼育大ケージの屋根ネットを開け、巣立つとともに野外に自由に飛び立たせる形で放鳥する。</p>	<p>えさのととり方、飛び方など、野外での生活に向けた訓練を行った飼育個体を放鳥地点（水田）まで輸送し、輸送箱を開けて野外放鳥する。</p>



コウノトリをやさしく見守ろう

以下の各点をお読みいただき、コウノトリが安心して暮らせるよう見守ってください。

- コウノトリを見かけたら、追い回したり、脅かしたりせず、静かに見守ってください。
- コウノトリを観察する時は、150mくらい離れて静かに観察してください。
- 放鳥したコウノトリは野生動物です。無事に暮らしていけるよう見守りをお願いします。
- コウノトリに餌を与えないでください。
- コウノトリは他の鳥類とも共存する鳥です。他の動物も一緒に見守ってください。
- 田んぼの中や個人の敷地内に無断で入らないでください。
- 長時間に多くのカメラを向けた撮影、ストロボ撮影については、人から受けるストレス

飛来したコウノトリを、地区全体で見守っていただけるよう協力をお願いします。

コウノトリを見学したり、写真を撮るために多くの人々が田んぼの周りなどに集まることが考えられます。

コウノトリが降り立った水田（コウノトリが選んだ地区）に定着してもらうため、地区外から訪れた方にコウノトリ生態や見学、観察へのルールをお知らせいただきながらコウノトリが安心して暮らせるよう見守りをお願いします。



コウノトリを見かけたら教えてください。

野田市では、放鳥したコウノトリの無事を確認するとともに、本格的な野生復帰や環境づくりの参考にするため、放鳥したコウノトリの情報を集める予定です。みなさんも、野田市内および周辺地域において、コウノトリを見たら教えていただけませんか？ご協力よろしくお願いします。

<おしえてほしい内容> ※必須情報以外は分かる範囲で結構です。

- いつ（目撃した年月日と時間） ※必須情報
- どこで（目撃した場所および環境：水田、水路、河川、木や電柱の上等） ※必須情報
- どの個体か（コウノトリの足につけられた「足環」の色で個体を見分けられます）
- なにをしていたか（上空を飛んでいた、えさを食べていた、歩いていた、休んでいた等）
- その他気付いたこと・気になったこと（元気がない、いじめている人がいた等）

【メモ】

<目撃情報の連絡先>

野田市自然経済推進部みどりと水のまちづくり課

〒278-8550 野田市鶴奉 7-1 ☎04-7123-1195/FAX04-7122-1558

※野田市で放鳥した個体以外にも、兵庫県豊岡市で放鳥・野外繁殖した個体や、大陸から飛来した野生の個体も、野田市に飛来する可能性があります。区別がつかない場合はもちろん、野田市放鳥の個体でない場合も、あわせてお知らせ頂きますようお願いいたします。